

(別紙)

令和7年度第1回東濃圏域地域医療構想等調整会議（8月18日開催）における  
議題「病床機能再編支援事業について（土岐市立総合病院、東濃厚生病院）」に  
関する主な委員意見

<病床数について>

- 現状の東濃厚生病院と土岐市立総合病院でも空床がある中で、トータルで400床は多いのではないかと心配である。

<人材確保について>

- 医師の確保について、医局員が減ってきているため、大学から派遣してもらうこともかなり厳しい状態であると聞いている。最初からフル稼働するのではなく、徐々にスタートしていけばよいのではないかと懸念している。
- 病床規模400床の新しい病院ができるが、医師や看護師が集まるのか前から懸念している。人材確保についてどのように考えているか。
- 看護師の確保について、400床の病院で必要な看護師数が逆算できると思うが、必要数に対する現状の確保状態はどうか。
- この地域だけでなく、全国的に看護師不足が問題になっているため、新しい病院の建設により、周囲の病院へ新しく入る看護師の数が減るのではないかと危惧している。

<その他>

- 新しい病院ができることにより、周囲の各医療機関に及ぼす様々な影響は計り知れない。今後も地域医療の共存共栄していくための配慮をお願いしたい。